

総合的な評価ワークショップ
(第 25 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム)の開催について(案)

- 「第 2 期かながわ水源環境保全・再生実行 5 か年計画」が満了となる平成 28 年度には、水源環境保全・再生の取組みは「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」で定める全体計画期間 20 年間において、前半 10 年の節目を迎えることとなる。
- このため、10 年間の取組みの成果と課題について一旦総括し、施策全体を総合的に評価（中間評価）し、その結果を県民に分かりやすく示して理解を得ながら、後半 10 年に繋げる必要があることから、県民参加による中間評価の取組みとして、総合的な評価ワークショップを開催する。

総合的な評価ワークショップ(第 25 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム)	
日 時	平成 27 年 7 月 26 日 (日) 10 時 30 分～16 時 50 分
会 場	横浜シンポジア (横浜市中区山下町 2 番地 産業貿易センタービル 9 階)
ねらい・位置付け	<p>○水源環境保全・再生の前半の取組みについて総括する場とする</p> <p>○今後 (後半 10 年) の取組みについて意見交換し、提案する場とする</p> <p>＜報告・検討の対象範囲＞</p> <p>水源環境保全・再生の前半の取組み (第 1 期～第 2 期 5 か年計画の 8 年間) の実績や成果、課題について総括する。実績や成果に関する報告、検討の対象としては、2 次アウトカムまでを中心とし、最終的アウトカムに関しては中間評価の範囲で検討する。</p> <p>また、課題への対応に関しては、後半 10 年の取組みにつながるような提案も含めて検討する。</p>
参加者 (約 200 名を想定)	<p>【主催者】</p> <p>水源環境保全・再生かながわ県民会議</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募の一般参加者 (※環境系の大学生など若年層の参加者への積極的働き掛けも行う) ・市民事業支援補助金交付団体等の市民団体 ・県民会議委員 O B (第 1 期～第 3 期) ・水源環境保全・再生の取組みと関わりのある有識者 ・森林組合等の事業関係者、市町村の事業担当者 ・他県の森林環境税関係担当者 等
名 称	第 25 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム ～ 水源環境保全税による取組みのこれまでとこれから ～
内 容	<p>【第 1 部】 10 時 30 分～12 時 10 分</p> <p>(1) 開会挨拶 (県民会議 田中座長、県環境農政局長) 10 分</p> <p>(2) 基調講演 (涌井 雅之氏) 50 分</p> <p>(3) 配布資料「かながわ水源環境保全・再生これまでの取組み」に基づく実績やモニタリングによる効果検証状況の説明 (県) 40 分</p> <p style="text-align: center;">－ 昼食休憩・分科会会場設営 － (60 分)</p> <p>【第 2 部】 13 時 10 分～16 時 50 分</p> <p>(1) 討議の趣旨・論点説明 (分科会リーダー) 30 分</p> <p>(2) 討議 (分科会 2 又は 3 グループ) 120 分</p> <p style="text-align: center;">－ 全体会会議室へ移動・休憩 － (15 分)</p> <p>(3) 質疑・意見集約 (全体会) 45 分</p> <p>(4) 評価アピール発表 (県民会議 田中座長) 10 分</p> <p style="text-align: right;">計 6 時間 20 分</p>
開催後の対応	<p>○ ワークショップでの議論や評価結果を踏まえ「評価報告書」を作成し、公表するとともに、関係者や各機関等に配布して広く周知を図る。</p> <p>○ 「評価報告書」の内容に基づき、施策の実績や成果・課題についての周知を図り、県民理解を得るとともに、次期 5 か年計画以降の後半 10 年間の継続的な施策実施に向けた機運を着実に醸成するため、年度後半に県民フォーラムを県内各地域で開催する (3 回程度開催予定)。</p>